

都市再生整備計画 事後評価シート
阪急池田駅周辺地区

令和4年3月

大阪府池田市

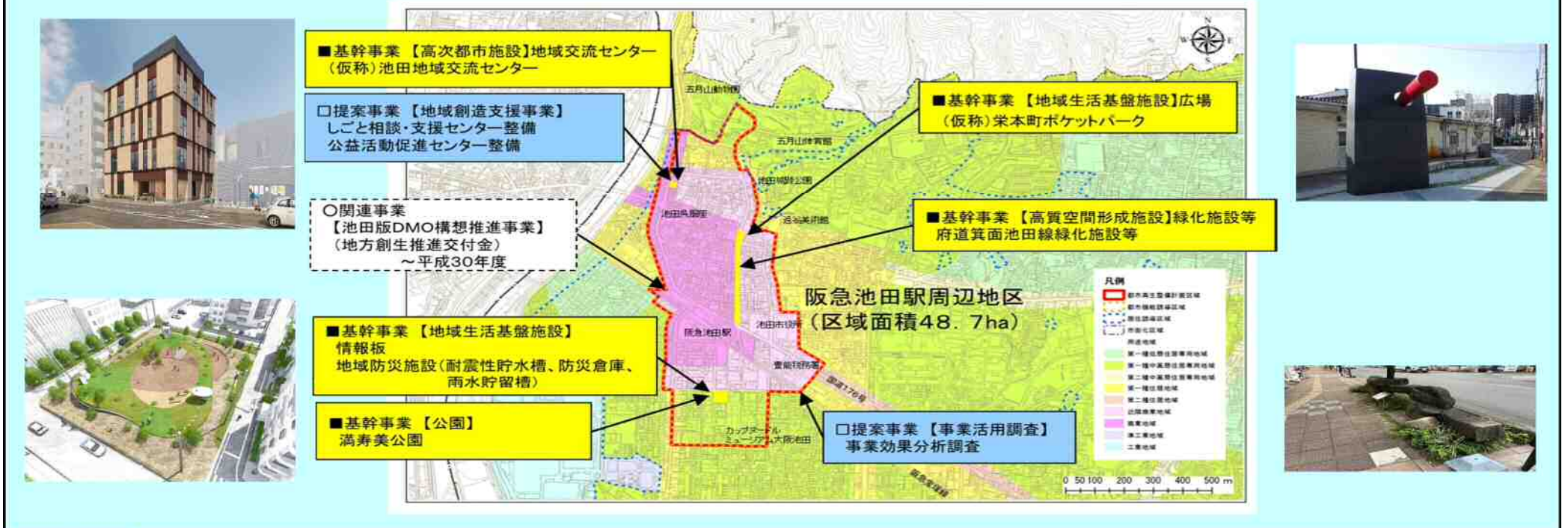
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	池田市		地区名	阪急池田駅周辺地区		面積	48.7ha			
交付期間	平成30年度～令和3年度		事後評価実施時期	令和3年度		交付対象事業費	1664百万円	国費率	0.477				
1) 事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	[公園] 満寿美公園、[地域生活基盤施設] 広場 / (仮称) 栄本町ポケットパーク、情報板 / 満寿美公園、地域防災施設 / 満寿美公園、[高質空間形成施設] 緑化施設等 / 府道箕面池田線										
		提案事業	[事業活用調査] 事業効果分析調査										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	[高次都市施設] (仮称) 池田地域交流センター [地域生活基盤施設] 雨水貯留槽整備 / 満寿美公園		(仮称) 池田地域交流センター整備、立地適正化計画の策定に伴い、公共施設の最適化の観点から既存施設の統廃合を行い、既計画との相乗効果を図るため			(仮称) 池田地域交流センター整備、施設を集約化、更新することで、既存施設の利用者数以上の利用が見込まれ、まちの交流人口の増加が図られるため、目標値の向上が見込まれる。					
提案事業		[地域創造支援事業] 公益活動促進センター整備、しごと相談・支援センター整備 ((仮称) 池田地域交流センター内)		立地適正化計画の策定に伴い、公共施設の最適化の観点から既存施設の統廃合を行い、既計画との相乗効果を図るため			施設を集約化、更新することで、既存施設の利用者数以上の利用が見込まれ、まちの交流人口の増加が図られるため、目標値の向上が見込まれる。						
交付期間の変更	当初	平成30年度～令和2年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			(仮称) 池田地域交流センターの開設に伴い、指標4: (仮称) 池田地域交流センター利用者数を追加						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	指標1	阪急池田駅1日平均乗降客数(定期外)	人/日	14,298 (乗) 13,592 (降)	H27	15,000 (乗) 14,300 (降)	R3	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	指標2	観光施設の来場者数	人/年	1,600,000	H28	1,700,000	R3	-	682,000	×	あり	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、大きく減少した。	R4年度
	指標3	阪急池田駅の空き店舗率の抑制	%	9.0	H28	9.5	R3	-	16.2	-	あり	R1年度時点では目標値を達成(推計値8.8%)していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により大きく増加しており、感染症の影響がなければ目標達成していた見込み。	-
	指標4	(仮称) 池田地域交流センター利用者数	人/年	52,405	H29	55,000	R3	-	-	-	あり	施設の供用開始後に指標の計測を行う。	R4年度
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	その他の数値指標1	池田市に住みたいと回答した割合	%	61.6	H21	-	-	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
4) 定性的な効果発現状況	令和4年3月に(仮称) 栄本町ポケットパーク周辺で、ポケットパーク利用者へのアンケート調査を行ったところ、「整備前よりよい雰囲気になった」、「日当たりがよくなって気持ちよい」等の評価の声があり、居心地のよい空間の創出に寄与している。												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					都市再生整備計画に記載はなく、実施したものもない。		
	住民参加プロセス	・(仮称) 池田地域交流センター整備事業説明会 ・満寿美公園整備現場説明会 ・府道箕面池田線緑化施設等整備アンケート				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					今後も市民の意見を取り入れながら、市民との協働により施設の維持・管理を行うとともに、住民活動を啓発・支援する交流拠点の形成を図る。また下記の様な意見があった。 ・ポケットパークについては、ポケットパーク横の倉庫等の活用または撤去を行うことで、幅広く活用の検討ができる。		
持続的なまちづくり体制の構築	・「官民連携まちなか再生推進事業」におけるエアプラットフォームの構築				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					行政、主要施設の運営者、活動団体、地元企業、大学などの多種多様な関係者と連携しながら、駅周辺エリアの空間の質向上と回遊性向上によるまちの活性化、賑わい創出を図る。			

様式 2 - 2 地区の概要

阪急池田駅周辺地区（大阪府池田市） まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
「自然と歴史・文化を活かした賑わい・交流ができる池田」の創出 ・中心市街地の賑わいの再生 ・歴史的資源を活用した回遊性の向上 ・安全・快適な歩行者空間ネットワークの整備・充実	阪急池田駅1日平均乗降客数(定期外)	単位：人/日 14,298 (乗) 13,592 (降)	H27 15,000 (乗) 14,300 (降)	R3 11,000(乗) 10,500(降)
	観光施設の来場者数	単位：人/年 1,600,000	H28 1,700,000	R3 682,000
	阪急池田駅の空き店舗率の抑制	単位：％ 9.0	H28 9.5	R3 16.2
	(仮称)池田地域交流センター利用者数	単位：人/年 52,405	H29 55,000	R3 -



まちの課題の変化

- ・満寿美公園、府道箕面池田線緑化施設、(仮称)栄本町ポケットパークといった公共空間の整備により、歴史・文化施設を回遊する来訪者の駅周辺での滞在時間が増加し、中心市街地の活性化に寄与する見込みである。
- ・既存の彫刻やモニュメントなどの地域資源が活かされていなかったが、府道箕面池田線の緑化施設と(仮称)栄本町ポケットパークの整備により、魅力ある歩行者空間が形成され、市民や来訪者が回遊できるようになった。
- ・市民や来訪者が快適に利用でき、集い憩える空間が不足していたが、満寿美公園と(仮称)池田地域交流センターの整備により、市民活動拠点が創出される見込みである。
- ・新型コロナウイルスのまん延により、3密回避や運動不足解消のための、ゆとりのあるオープンスペースへのニーズが高まっている。また、テレワークの進展により職住近接のニーズが高まり、公共交通の利用への不安や在宅勤務推奨の結果、公共交通利用者が減少している。

今後のまちづくりの方策（改善策を含む）

- ・駅南空間（せせらぎモール等）、駅北空間（池田駅前での広場等）等の再整備により、まちの玄関口にふさわしい空間を創出する。
- ・五月山緑地、五月山動物園の再整備等を中心としたグリーンインフラの推進により、緑豊かで歩きたくなるまちづくりをめざす。
- ・府道箕面池田線と市道本町通りの結節点にある、(仮称)栄本町ポケットパークとコミュニティセンター跡地を、阪急池田駅と五月山緑地等をつなぐ、ウォークアブル拠点として一体的に整備する。
- ・都市計画道路（菅原新町線、猪名川満寿美線）を整備し、観光拠点であるカップヌードルミュージアム大阪池田と阪急池田駅間の回遊性向上を図る。
- ・池田駅前公園や池田城跡公園、サカエマチ商店街等の空間の利活用を官民連携で推進し、潜在機能を向上させる。
- ・景観計画の策定を検討し、五月山への眺望に配慮した、山並みと調和した形状や色彩で施設を整備する。
- ・公共交通だけでなく、自転車や次世代モビリティなどを利用しやすい環境整備を目指す。
- ・目標を定量化する指標について、個々の事業のアウトプットではなく、事業実施による住民や社会への計画全体の影響度を示す指標を検討し、事業による効果の質を評価できる指標を設定する。